

～地形で見る東京：その魅力と謎～

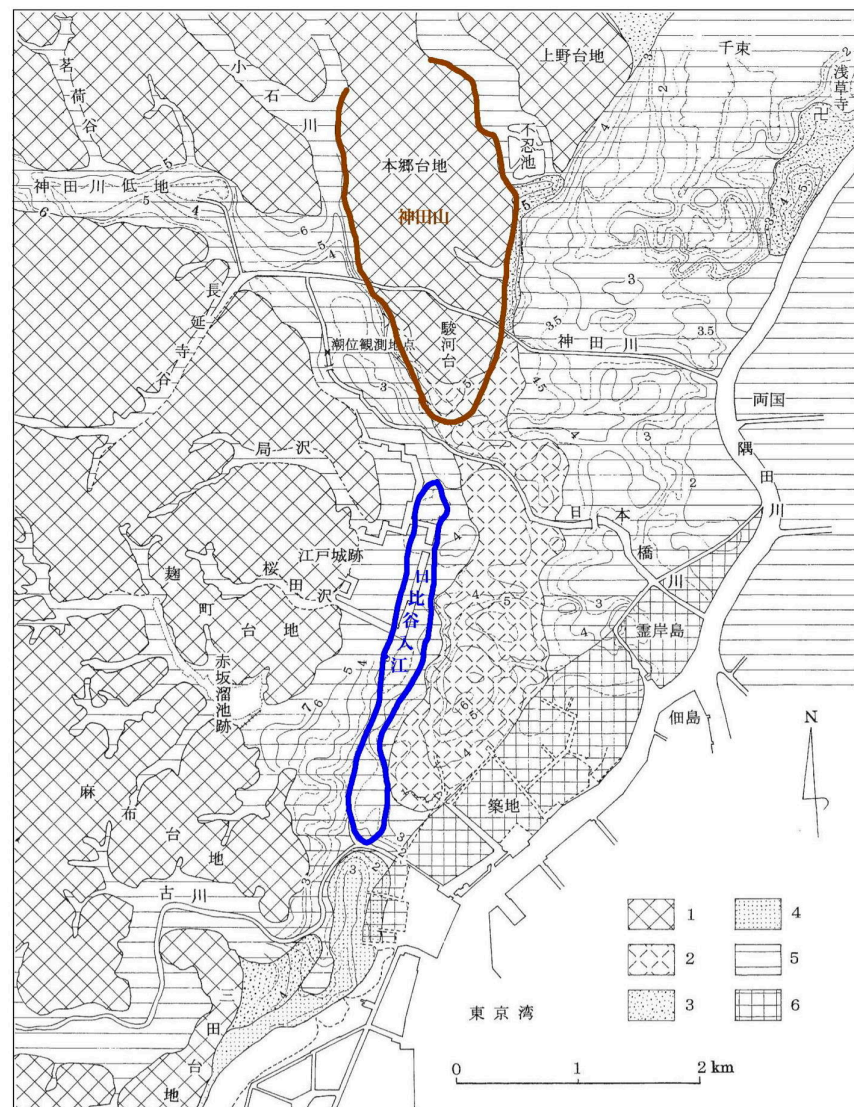
変えられてきた地形

河川改修・人造湖・埋立

【寄藤 昂】

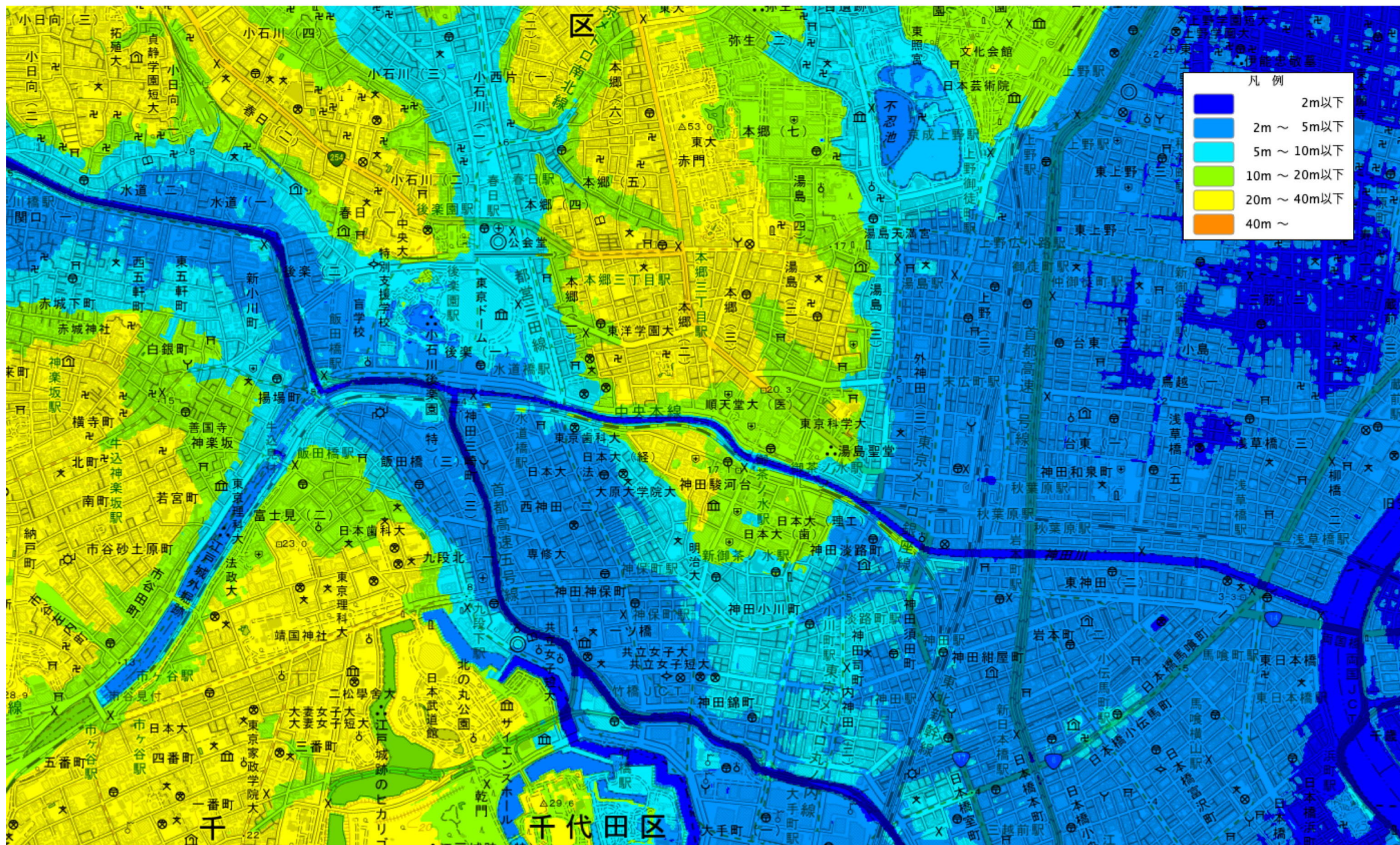
1. 日比谷入江の埋め立てと神田川開削
2. 荒川放水路の開削
3. 2つの人造湖：村山貯水池と山口貯水池
4. 今も続く海への拡張

1. 日比谷入江の埋め立てと神田川開削



1. 洪積台地
2. 江戸前嶋
3. 砂質堆積物地形 (I)
4. 砂質堆積物地形 (II)
5. 氾濫低地 谷底低地
6. 埋立地

「東京湾北西部付近の地形分類図」(角田清美, 2016, 東京都心部の小地形と海岸線の変化, 48p) に加筆



神田川下流域の標高分布（国土地理院：地理院地図で作成）

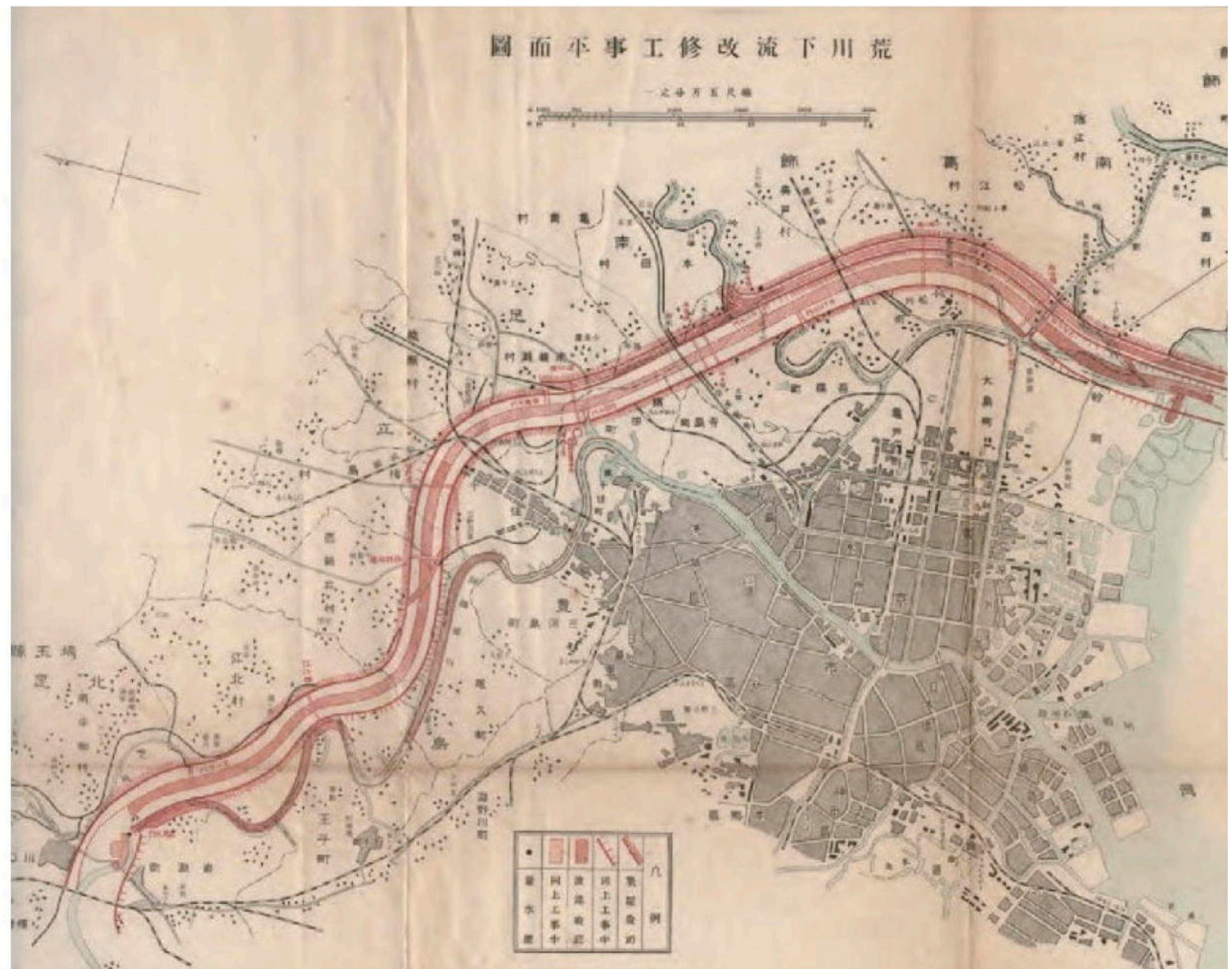
2. 荒川放水路開削

1910	明治43	荒川改修計画立案
1911	明治44	荒川放水路事業 着手
1913	大正02	掘削工事開始
1914	大正03	水路浚渫開始
1916	大正05	岩淵水門着工
1918	大正07	綾瀬水門着工・常磐線鉄橋着工・ 新川水門着工・総武線鉄橋着工
1919	大正08	隅田水門着工・東武線鉄橋着工・
1921	大正10	木下川水門着工・中川水門着工・ 新綾瀬川略々通水
1922	大正11	新川水門竣工・綾瀬水門竣工・ 新中川略々通水
1923	大正12	関東大震災 28か所に被害 各鉄道橋および人道橋竣工 岩淵・木下川・中川・隅田水門竣工 一部水路で通水開始
1924	大正13	荒川放水路全川通水
1926	昭和元	小名木川開門着工
1927	昭和02	船堀開門着工
1930	昭和05	荒川放水路事業竣工

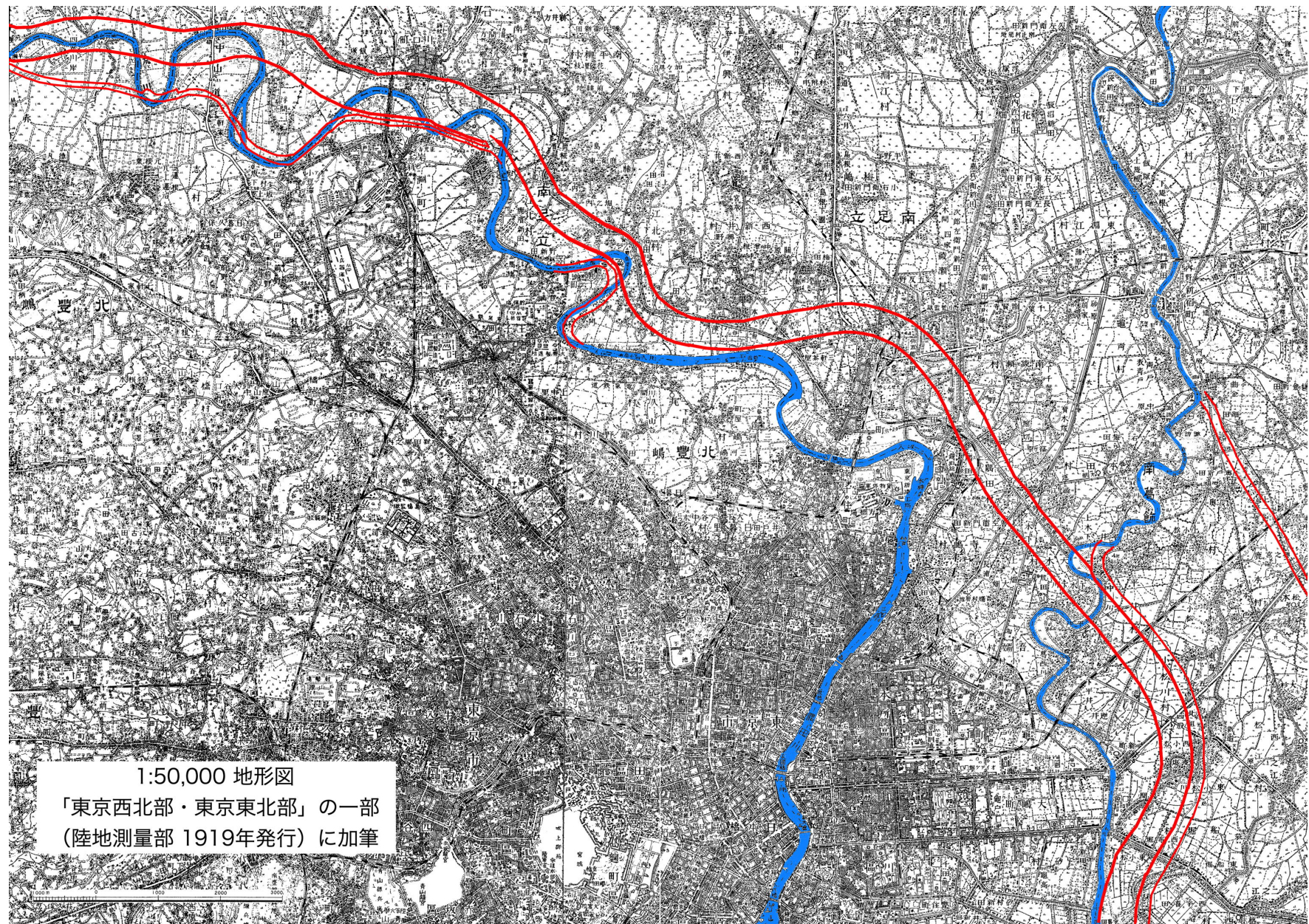
工事年表

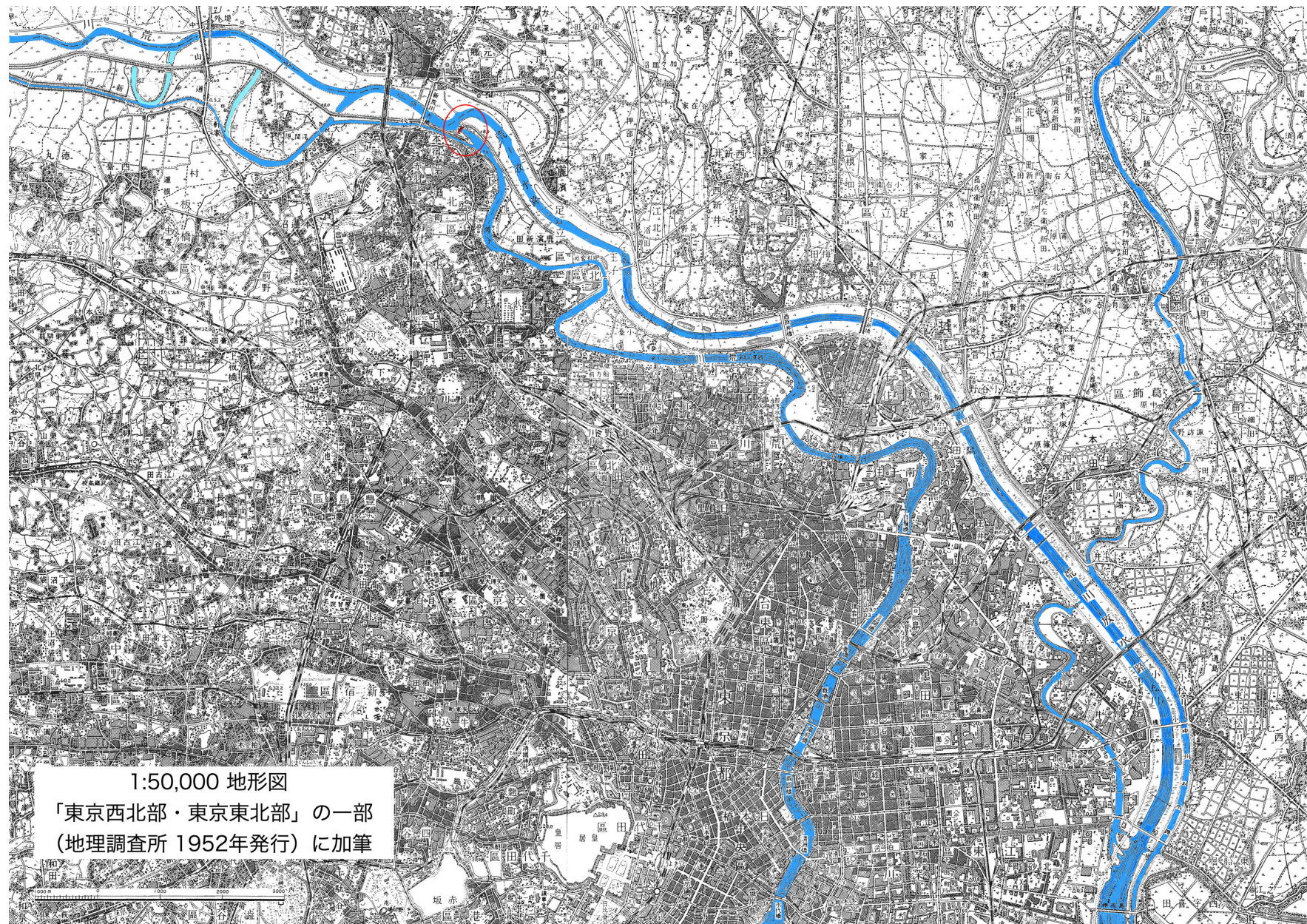
項目	数量	備考
延長	22km	
川幅	455m ~ 582m	
総工事費	31,446,000円	当時大卒初任給 35円
土量	浚渫	910万m³
	掘削	1,270万m³
	築堤	1,204万m³
橋	鉄道	4橋
	道路	13橋 (1鉄橋、12木橋)
開門および水門	開門3ヶ所、水門7ヶ所	
土地買収	1,098町歩	北区の面積の約半分
移転戸数	1,300戸	

荒川放水路工事の概要

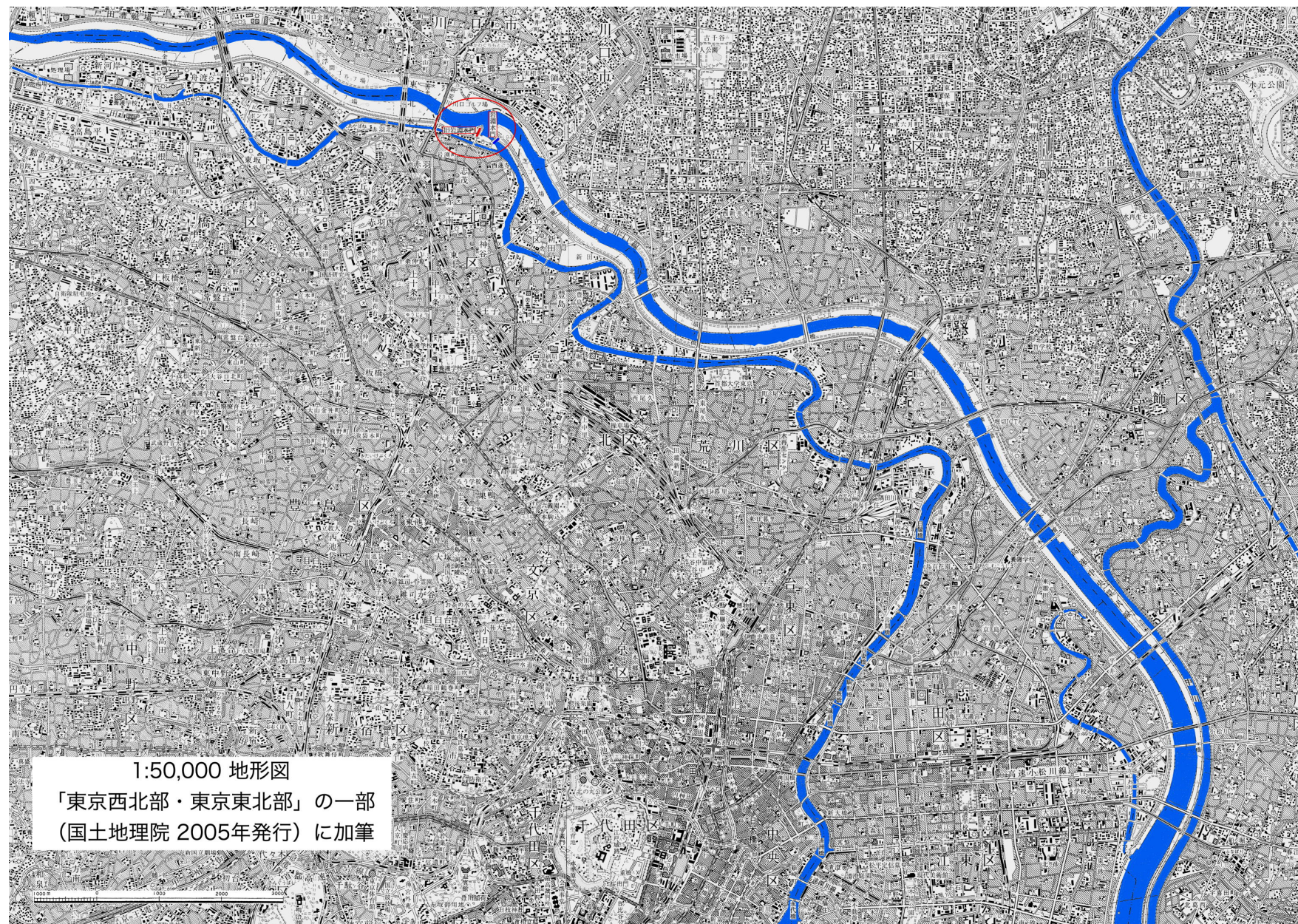


荒川下流改修工事平面図（公式計画図）





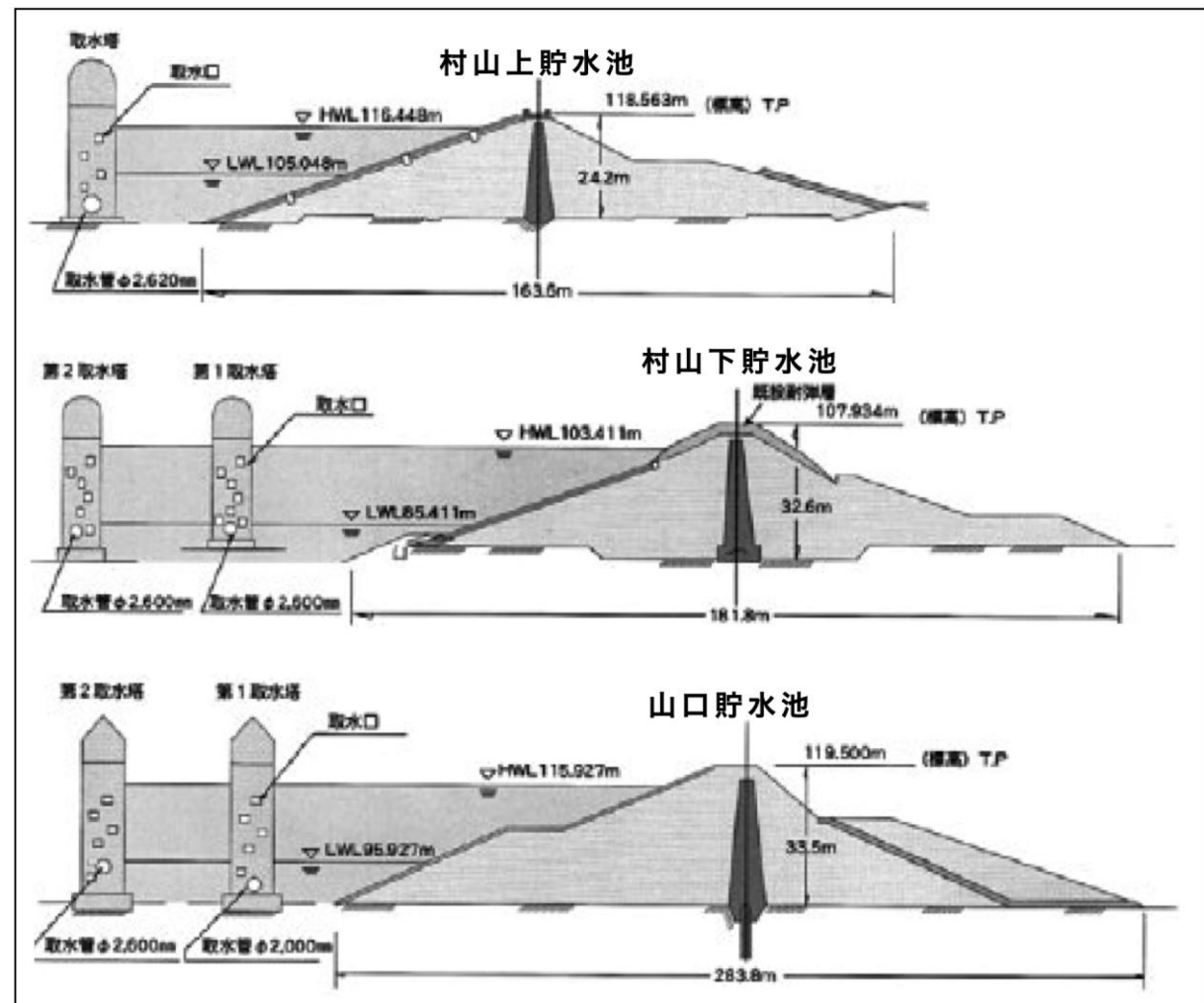
1:50,000 地形図
「東京西北部・東京東北部」の一部
(地理調査所 1952年発行) に加筆



3. 2つの貯水池

1629	寛永6		神田上水開設
1653	承応3		玉川上水開通
			以降も江戸の人口増加止まらず
	明治期		さらにコレラの流行頻発
1909	明治42	4月	東京市水道拡張の調査を内務省市区改正委員会に依頼、委員会は中島鋭治工学博士らに調査委嘱
1911	明治44	12月	調査結果と提案を市区改正委員会に提出 1案：大久野貯水池、2案：村山貯水池
1912	明治45	5月	市区改正委員会、第2案採用を決定
1912	大正元	9月	村山貯水池案、内閣の承認を受ける
1913	大正2	11月	東京市は水道拡張設計事務所を設置
1914	大正3	10月	村山貯水池：敷地測量完了 続いて山口貯水池仮定地の測量着手
1916	大正5	5月	村山貯水池起工、下堰堤より工事開始
1917	大正6	10月	村山貯水池：上堰堤起工
1923	大正12	7月	羽村村山線（導水路）通水 村山上貯水池：水張り開始
1923	大正12	8月	村山上貯水池：取水塔完成
1923	大正12	9月	関東大震災 貯水池堰堤に小亀裂発生程度で被害は軽微
1924	大正13	2月	村山境線（取水路）通水開始
1924	大正13	3月	村山上貯水池：竣工
1925	大正14	7月	村山下貯水池：第一取水塔完成
1927	昭和2	3月	村山下貯水池：竣工
1927	昭和2	8月	山口貯水池築造工事、内閣より認可される
1928	昭和3	3月	山口貯水池：起工
1934	昭和9	3月	山口貯水池：竣工
1973	昭和48	2月	村山下貯水池：第二取水塔完成
1998	平成10	1月	山口貯水池：堤体強化工事開始
2002	平成14	11月	山口貯水池：堤体強化工事完成
2003	平成15	3月	村山下貯水池：堤体強化工事開始
2009	平成21	3月	村山下貯水池：堤体強化工事完成

村山・山口貯水池年表



貯水池断面図（ダムの書誌あれこれ 87）

山口貯水池

所在地	所沢市山口
ダム型式	アースダム
堤高	35 m
堤頂長	690.9 m
堤体積	1,404,000 m3
湛水面積	189 ha
有効水深	20m
総貯水容量	20,649,000 m3
有効貯水容量	19,528,000 m3
着手年	1927年
竣工年	1934年

村山上貯水池

所在地	東京都東大和市芋窪
ダム型式	アースダム
堤高	24.2m
堤頂長	318.2m
堤体積	33.3万m3、
湛水面積	41ha
有効水深	11m
総貯水容量	332.1万m3
有効貯水容量	298.3万m3
着手年	1916年
竣工年	1924年

村山下貯水池

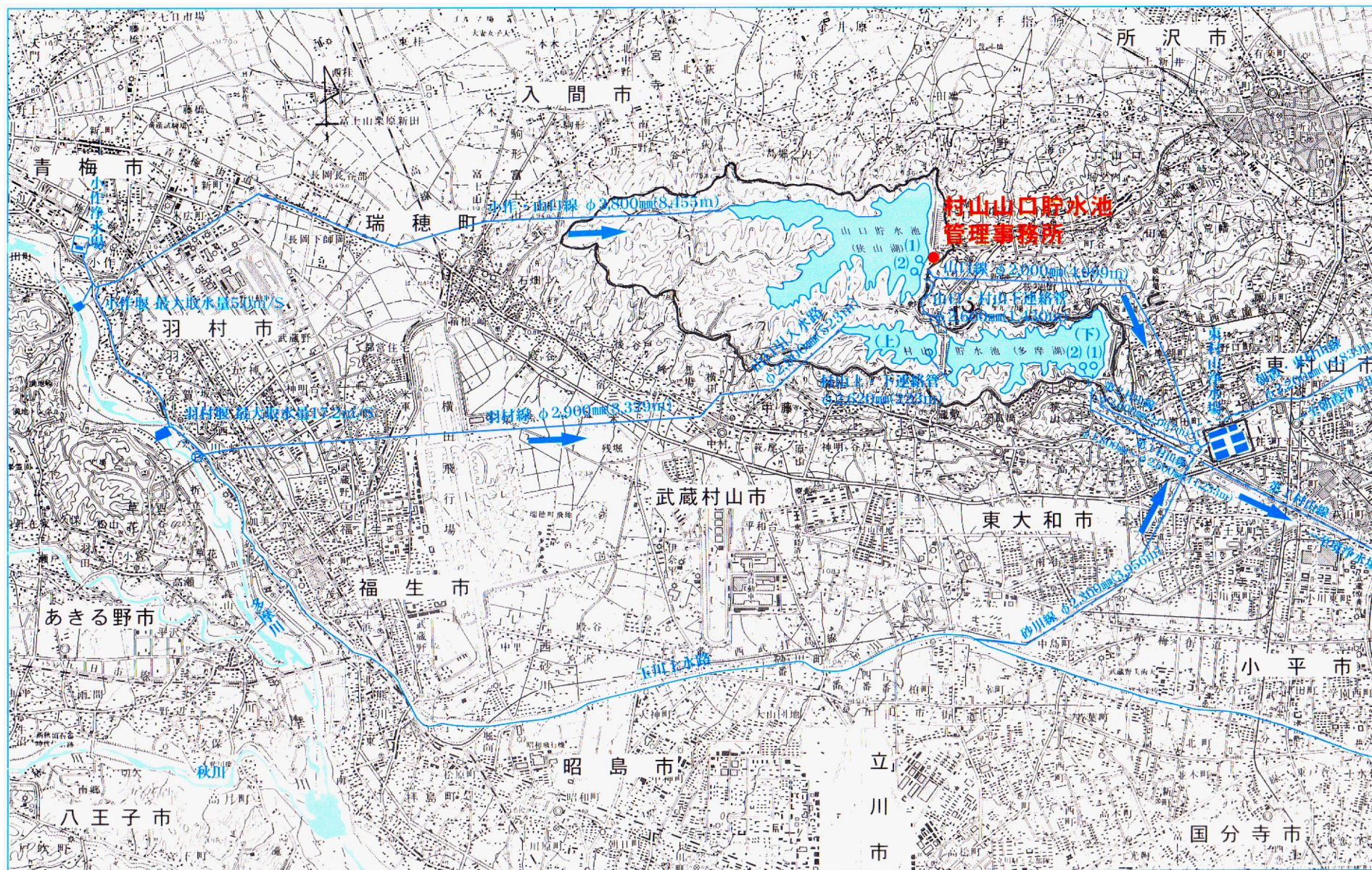
所在地	東京都東大和市清水
ダム型式	アースダム
堤高	32.6m
堤頂長	587.3 m
堤体積	836,000 m3
湛水面積	111ha
有効水深	18m
総貯水容量	1,214.8m3
有効貯水容量	1,184.3万m3
着手年	1916年
竣工年	1927年

用地買収および住民の移転

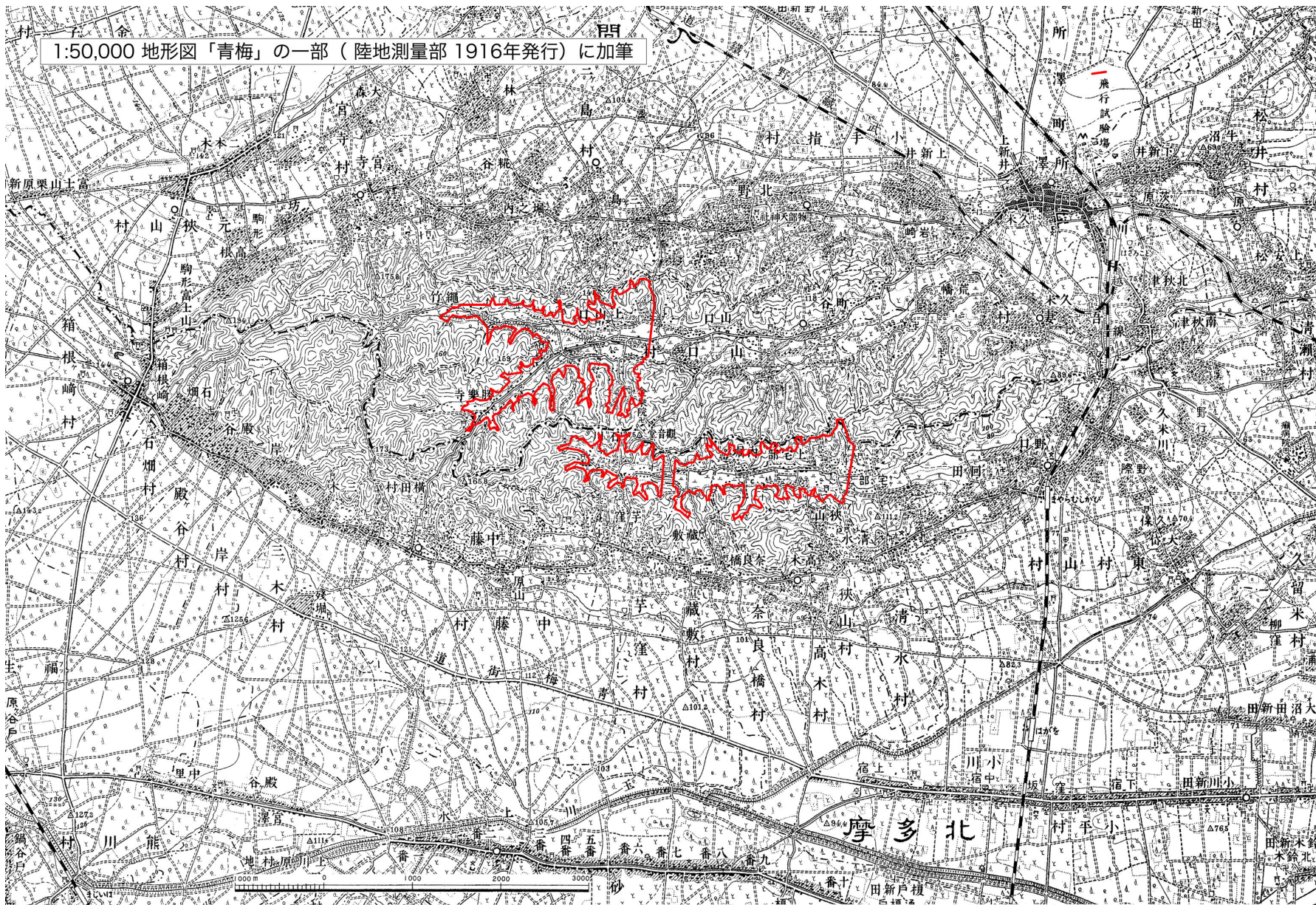
	宅地	水田	畑	山林	その他	総面積	移転戸数
村山貯水池	14.25	40.31	52.98	214.28	0.27	322.0	162
山口貯水池	24.46	36.47	118.85	508.62	5.73	694.1	282



山口貯水池の水没地（東京都水道歴史館デジタルアーカイブ）



村山・山口貯水池の給水系統（村山山口貯水池管理事務所資料）





4. 海への拡張

